

變化の仕方を亂子スペクトルの $-5/3$ 則によつて説明する。

2-22. 風湍氣流の亂れについて 第2報 (8)

井上榮一。亂子速度の時間的及び空間的相關係數と亂子スペクトルとの關係について述べる。

2-23. 風湍氣流の亂れについて 第3報 (8)

井上榮一。壓力變動にスペクトルを導き、壓力變動について相關係數を求めようとする。

2-24. 亂れのスペクトルの構造に関する實驗的研究 第1報 (10) 濱良助, ○辻廣。亂れのスペクトルの細かい構造をしらべるために、濾波器を通過した後の亂流速の頻度分布を測つた。

2-25. 亂れのスペクトルの測定 (第1報)(8) ○濱良助, 辻廣。低い周波數に至るまでの亂れのスペクトル分布を測定した。

2-26. 放電風速計の周波數特報 (8) 堀榮一。大氣中の直流グロー放電に交流を重ねて電壓、電流の周波數特性を調べ、音に對する特性と比較した。

2-27. 粒體の振動について (10) 最上武雄。粒體を振動させると流動性を帯びる事について述べる。

2-28. 電氣傳導度に依る土の締固め程度の判定 (10) 渡邊隆。土の乾燥密度と電氣傳導度とは含水量一定ならば似た傾向を持つ、これを利用し、現場でローラーの効果を簡単に判定し得た。

2-29. 土の突固め試験について (第4報) (10) 久野悟郎。突固め試験に大きな影響を與へる地山の性質を引續き研究してゐる。今回は自然土の乾燥處理過程に於ける性質の變化を報告する。

2-30. 太鼓の振動 (7) 松浦尙。大太鼓の固有振動を詳細に調べた結果を報告する。

2-31. 減衰時間測定の一つの試み (8) 五十嵐壽一。可聽周波の音を超低周波で變調して音源として用いると室の殘響のような過渡的な現象の減衰時間を決定することが出来る。

2-32. トランペットの音響特性 (8) 佐藤孝二, ○五十嵐壽一。米國製及び和製の管樂器(トランペット)の良否を比較するために、その周波數特性をしらべて見た。

2-33. 自轉車用ベルに就て (10) ○佐藤孝二, 久保啓一。音響學の立場から自動車や目覺時計のベルの構造を如何にすべきかに就て述べる。

## 第2會場

第2日 (6月9日, 金) 9時—12時

2-34. 亜鉛板に及ぼす不純物の影響 (第3報)

(10) 和田次郎, ○中村健吾。前報に引き續き 99.99% 亜鉛地金に Fe, Pb, Ca を添加した Zn-Fe-Pb, Zn-Pb-Ca, Zn-Ca-Fe 系の三元合金板の耐蝕性を調べた。その結果 Zn-Fe, Zn-Ca の二元系に比し Pb を添加した方が耐蝕性はよい。

2-35. 再結晶法による亜鉛單結晶の製作 (10) 和田次郎, ○中村健吾。弱加工後焼鈍する。所謂再結晶法に依る亜鉛單結晶の製作條件を系統的に調べた結果について報告する。

2-36.  $Cu$  を含む亜鉛合金板に及ぼす不純物の影響 (10) 和田次郎, ○岩崎浩二。高純度  $Zn$  地金に Ca を添加した  $Zn$  合金板の機械的性質、腐蝕的性質に及ぼす不純物 Pb, Ca, Fe の影響について報告する。

2-37. 鑄造用亜鉛合金に関する研究 (第2報)  $Zn-Al$  系合金に及ぼす  $Ca$ ,  $Sb$  の影響 (10) ○和田次郎, 笹川雅信。 $Zn-Al$  系合金は粒間腐蝕の點から Pb の外に Ca 及び  $Sb$  に對しても敏感である。此の微量の Ca 及び  $Sb$  と粒間腐蝕抑制劑である Mg との定量的關係を調べた。

2-38. 鑄造用合亜鉛合金に関する研究 (第3報)  $Zn-Al$  系合金の流動性に及ぼす  $Mg$  の影響 (10) 和田次郎, ○笹川雅信。 $Zn-Al$  系合金には粒間腐蝕抑制劑として Mg が添加されるが、此の Mg が熔湯の流動性に悪影響を及ぼすので、Mg は少い方が望ましいことを實驗により明にした。

2-39. 逆張力附加引拔法の研究 (第6報) ダイス摩耗に就て (10) 五弓勇雄。普通引、普通水冷引、逆張力法及び逆張力水冷引に就て引拔仕事量、ダイス温度、ダイス摩耗等に就て研究し逆張力水冷引が何れの點でも最優秀なることを認めた。

2-40. 冷延珪素鋼板の研究 (第3報) 工程の變化及び Al 添加の影響 (10) 五弓勇雄。冷延珪素鋼板製造工程中の強壓延段階の中、今回は前段の加工度を大にした場合及び Al 添加の異方性に及ぼす影響について説明する。

2-41. 衝擊押出の冶金學的研究 (第3報) 亜鉛押出の所要力に就て (10) 五弓勇雄。亜鉛押出の場合の所要力に及ぼす押出速度、押出温度、ブランクの熱